

### 1. 単元で育成する資質・能力

生きて働く「知識・技能」	未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」	学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」
<p>ア (ア) 2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。またその筆算の仕方について理解すること。</p> <p>(イ) 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。</p> <p>(ウ) 乗法に関して成り立つ性質について理解すること。</p>	<p>イ (ア) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。</p>	<p>○数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとする。</p>
<p>既習の乗法九九を基にしなが、数のまとまりに着目して計算する。2位数や3位数に、1位数をかける乗法の計算も何十×1位数や九九を使って計算できることを理解する。乗法には乗数や被乗数が人数や個数などの場合があり、さらに除法の逆としての乗法の問題もある。乗法の交換法則、結合法則、分配法則の指導にあたっては、幾つかの場合について具体的な数で計算して法則を見いだすなどして、児童が主体的に調べていけるようにする。</p>	<p>自らが計算の仕方を考えることができるようにし、既習の十進位取り記数法や乗法九九などを基にして、新しい計算の仕方を考えていくようにする。また、3位数に1位数をかける計算の仕方を考えるときには、同じように考えて計算できることを類推して考えることを大切にする。計算の工夫については、既習の交換法則に加え、結合法則も用いることで、問題解決などにおいて、よりよいものを求め続けようとする態度や、多面的に考えようとする態度が育成できるようにする。</p>	<p>乗法が九九の範囲を超えて、無限にあることを知り、答えが出たら終わりではなく、その「わけ」を説明しようとする姿勢を大切にする。新たな数学の場面に出会ったとしても、既習事項を用いれば被乗数が2位数や3位数になっても計算できるよさに気付かせたい。その際に、式を分けたり図に表したりして的確に相手に伝える態度を育てる。また、被乗数がさらに大きくなっていても学習したことを活用し、同じように計算はできないかと類推して考える態度を育成する。</p>

### 2. 数学的な見方・考え方の系統

**A 数と計算領域**

<4年>

<本単元>

数量の関係に着目

<2年>

数量の関係に着目

数量の関係に着目

乗法が用いられる場合とその意味について考察する

乗法が用いられる場合とその意味、乗法の式、乗法に関して成り立つ簡単な性質、乗法九九

2位数×1位数の計算の仕方について考察する

多数桁の場合の除法について考察する

2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算、乗法に関して成り立つ性質

除数が1位数や2位数で被乗数が2位数や3位数の除法の計算の仕方

**見方・考え方が成長する単元デザイン**

本単元では、数量の関係に着目し、乗法に関して成り立つ性質を考察し、その性質を用いて、2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算の仕方を考察する。第2学年で、数のまとまりに着目し、乗法が用いられる実際の場面を通して乗法の意味を考察し、この意味に基づいて乗法九九を構成したり、乗法九九に成り立つ性質に着目したりしてきた。この経験をもとに、2位数×1位数の計算の仕方を考察していく。図や式で表現したことをもとに、被乗数が2位数になった場合でも、被乗数を数のまとまりに分ければ既習の乗法九九をもとに計算することができるというように新しい計算の仕方を考えていけるようにすることが重要である。そして、数のまとまりの10や100をもとに数の構成に着目して、位ごとに数を分けて既習の乗法九九に帰着させて考察する。この考えをもとに筆算の仕方に統合する。被乗数を2位数から3位数に場面を広げて発展的に考える。3位数に1位数をかける計算の仕方の考察では2位数に1位数をかける計算の仕方をもとに類推的に考察していく。被乗数を数のまとまりに分ける過程を通して計算に関して成り立つ分配法則の性質を見いだす。この考えが筆算形式で処理する際に用いることに気付かせる。単元の終末では、乗法の幅をさらに広げ3つの数の乗法の場面を通して、結合法則に気付いていく展開を図りたい。

このように被乗数を構成する要素の関係に着目し、統合的・発展的な考察を繰り返すことで深め、被乗数を位で分けることで乗法九九をもとに計算できるよさを単元を通して育成していくのである。これらの学習を通し、第4学年では、整数の除法の筆算での計算の仕方について考察し、多数桁の除法も乗法と同様に基本的な計算をもとにしてできることを見いだすとともに、桁数の多い計算の仕方を発展的に考えるなど整数の計算を考察する。

### 3. 単元デザイン

時	本単元の前	1	2 (本時)	3・4・5・6	7・8・9	10	11	本単元の先
<b>学習活動の概要</b>		被乗数を10や100のまとまりと見ることに着目	被乗数の数量の関係に着目	既習の乗法に着目 2位数×1位数の筆算の仕方	既習の乗法に着目 3位数×1位数の筆算の仕方	乗法の結合法則	適用問題	
<b>育成を目指す資質・能力</b>	乗法九九、簡単な2位数の乗法の計算ができる。	・被乗数と積の関係に着目し、被乗数が10倍になると積も10倍になることに気づき、被乗数と積の関係から何十、何百×1位数の計算ができる。	・被乗数の分け方に着目し、位に分けるよさを考察し、2位数×1位数や3位数×1位数の計算をすることができる。	・前時の分配法則の考えを関連付けて2位数×1位数の筆算の仕組みについて理解し、計算することができる。	・既習の2位数×1位数の計算の仕方を基に3位数×1位数の計算の仕方を類推的に考え、原理を理解し、計算することができる。	・加法の結合法則を基に、乗法の結合法則を理解し、計算の工夫を説明することができる。	・適用問題を解き、解決方法を考え、説明することができる。	・乗数が整数である場合の小数の乘法について考察することができる。 ・既習の学習を活用しようとする。



## 4. 本時について

本時目標	2 位数×1 位数の計算の仕方を、既習の九九や何十、何百×1 位数を基にしくみを表現することができる。	見方：着眼点	考え方：思考・認知、表現方法	見方・考え方の成長
本時に おける	知識・技能 位に着目しながら被乗数を分配し、2 位数×1 位数の計算の仕方を理解する。	被乗数の分け方に着目	式や図を用いて、乗法九九の活用の仕方を表現する。	被乗数の分け方の見方を広げ、数量関係の理解を深めるとともに、位で分けると計算できるという見方を活かしていこうとする。
思考・判断・表現	2 位数×1 位数の場面について、九九や分配法則を使って説明することができる。			
学びに向かう力	筋道立て計算の仕方を表現したり、さらに発展的な場面を考えたりしようとしている。			

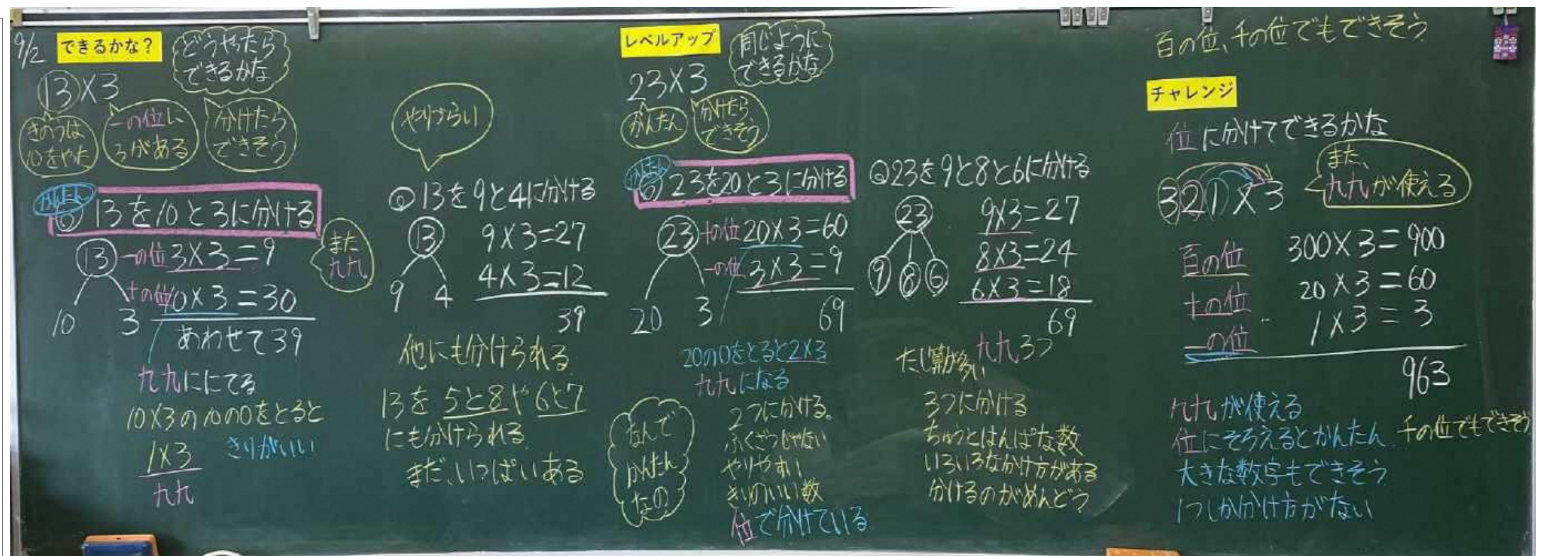
本時の主旨	①問題場면을把握する	②被乗数が増えたときの分け方を説明する。	③二つの考え方を比較し、よさを考察する。	④学習を振り返り、学び進める
九九を基に問題を振り返りながら考察していく。被乗数が大きくなって被乗数を分配法則を使って九九を基にしたら計算できることを気付かせる。被乗数の分け方には九九にする分け方や位で分ける分け方があり、位に分けて考えることで被乗数がさらに大きくなって九九を基に簡単に計算ができることに気付かせたい。簡単に計算できるとは、位に分ける分け方は1通りであり、すぐに分け方が決まったり、元の数字を使うだけで計算できたりするということである。 位に分けて考えることは3位数×1位数の計算や、筆算の仕組みにもつながる被乗数が2位数を位に分けて計算する方法を基に被乗数が3位数になった場合の乗法も同じようにできないか発展的に考える姿を目指したい。	○被乗数が2位数（1の位が0ではない）のときの被乗数の分け方に着目し問いを焦点化する。 ・既習の10のまとまりのかけ算を振り返りながら、13の分け方に着目し、同じように被乗数を分けたら計算できそうだといくことに気付く。 ・13×3の課題を提示する。	○被乗数の分け方に着目し、それぞれの分け方について説明する。 ・23×3の課題を提示する。 ・被乗数が23のときの被乗数の分け方に着目し、位に分けて計算する考えを説明する。 ・被乗数を九九に分けて計算する方法を知る。 ・どちらも九九が基になっていることに気付く。	○被乗数を九九で分ける方法と位で分ける方法を比較し、位で分けるよさを見いだす。 ・2つの方法を比べて、被乗数を位で分けるよさを考察する。 ・20を10のまとまり2つ分と見て2×3を九九を基にしたら計算が簡単にできることに気付く。	○位に分けて計算することで数が大きくなって同じように計算できることを説明できるようにする。 ・1位数×3位数の場合も被乗数を同じように位で分けて計算することで解決することができることに気付く。
	既習事項の乗法九九、10×3や20×3が九九を基にして計算したことについて確認する。被乗数が大きくなったときの被乗数の分け方に着目できるようにする。 「13×3のかけ算はかけられる数を10と3に分けたらできる。九九が基になっている。」	被乗数を九九に分ける考え方と位で分けて九九を基にして分ける考え方を取り上げる。 「どの分け方も九九を基にすると簡単に計算できそうだな。」	被乗数を位に分けるよさを考察し、被乗数が位で分けることですぐに分け方が決まったり、さらに大きな数でも同様に考えれば計算できたりする考えを引き出す。 「位に分けると、何の段の九九を使うかすぐ分かる。」「分け方が一つしかない。」	被乗数を位に分けて計算することで、3桁や4桁になっても同様の方法で計算することができるという考えを引き出す。 「位に分けて計算すれば、かけられる数が3桁や4桁になってもできそう。」

## 5. 教材の価値

第2学年で学習した乗法九九を数学的な見方・考え方の土台として、本単元では被乗数を構成する数量の関係に着目し、被乗数の分け方を考察したり乗法の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の乗法を捉え直したり日常生活に生かしたりする。

かけ算の筆算をするにあたって、新しい学習と捉えるのではなく、今までに学習してきた九九に帰着して考えることができたことを大切にしたい。筆算の形式を知るだけでなく、筆算の仕組みを理解するために、位ごとに分けて考えるよさに気付かせたい。そこで今まで学習してきた九九を拡張した乗法について、どのように考えれば計算できるのかを考えていく。その際に、1年生の足し算や3年生の第1単元でも扱った「かけ算」で、数を分けたことを生かして考えていけるようにする。式を分けて書くことで、筋道立てて説明しようとする態度も育てていく。

第4学年では多数桁の除法、第5学年では小数の乗法および除法を考察する。本単元で働かせた数学的な見方・考え方が、次学年で活かされるようにする。





## 6. 授業記録

教師の発問	児童の反応
① 問題場面を把握する (A の局面)	
T1 昨日はお菓子を使った問題をやった。	C1 うん。
T2 みんな簡単にできていたね。	C2 うん。簡単だった。
T3 今日はレベルアップした問題をもってきました。	C3 よっしゃ!
T4 昨日は $20 \times 3$ や $200 \times 3$ をやったね。	C4 <b>九九を基</b> にしてやった。
T5 今日の問題はお菓子を使わず ( $13 \times 3$ を板書)。	C5 $13 \times 3$ 、分かった。 C6 簡単 C7 できる。
T6 どうやったらできそうかな	C8 余りをつくる。 C9 それわり算だよ。 C10 わり算じゃなくてかけ算だよ。 C11 昨日のようにまず、 $10 \times 3$ をするとできる。
T7 今日は昨日と何か違うね。何が違うかな?	C12 一の位に3が増えてる。 C13 まずは $10$ と $3$ に分けて、かけたらできる。 C14 分けたらできる。
T8 じゃあ、自分でやってみよう。	C15 簡単にできる。 C16 書き方が分からない。
T9 何人かわり算やってない?	C17 わり算なら4あまり1 C18 かけ算だよ
T10 じゃあ、やり方教えてくれる人?	C19 $13 \div 3$ の $13$ を $10$ を〜。
T11 $13 \times 3$ だね。	C20 あっ、 $13 \times 3$ の $13$ を $10$ と $3$ に分けてかける。 C21 おれ、言おうとしていた
T12 同じようにやった人?	C22 はい。(約10人)
T13 続き教えて。	C23 $10$ と $3$ に分けたから $3 \times 3 = 9$ と $10 \times 3 = 30$ で、二つを足して $39$ 。 C24 同じ。 C25 先に $10 \times 3$ をやった。

T14 逆にやったってことだね。	C26 <b>また、九九</b>
T15 今日は何を使ってやったんだろう?	C27 <b>九九をして足し算も。</b>
T16 どれが九九?	C28 $3 \times 3$ と $10 \times 3$ C29 $10 \times 3$ ? C30 あっ、ちがう。 C31 <b>でも、九九に似てる</b>
T17 なんだっけ? どうしたらいいんだっけ?	C32 <b>一応九九。</b> C33 <b><math>10 \times 3</math> の <math>0</math> をとると九九になる。</b> C34 そういうことか。
T18 $0$ をとるとどうなる?	C35 $1 \times 3$ . C36 <b>うわー、九九ー。</b>
T19 他にもやり方ある?	C37 最初、 $13$ の $3$ をとって $10 \times 3$ をして $30$ 、 $3 \times 3$ をして $9$ 。二つを足して $39$ 。
T20 逆になってるんだね。こんなやり方もあった。	
T21 <b>じゃあ、みんな九九が好きだから先生から提案していい?</b> 九九簡単だからこんな分け方ないかな? $13$ を $9$ と $4$ に分ける。	<b>位に着目する見方の考察</b>
T22 どう?	C38 いやっそれは・・・やりづらい・・・。 C39 それもいいんじゃない? C40 それもいいと思う。
T23 これでもできない?	C41 九三 二十七、四三 十二。足して $39$
T24 $5$ と $8$ で	C42 ほんとだ。 C43 たしかに。 C44 他にもあるんじゃない。 ある。 C45 あるよ、あるよ。 C46 $5$ と $8$ に分けられる。 C47 まだある。 C48 $6$ と $7$ にも分けられる。
T25 $6$ と $7$ で	C49 $13$ 。
T26 全部同じようなやり方だね。	C50 $13$
T27 さっき、〇〇さん、小さな声でなんて言ってた?	C51 まだある C52 ほんとだよー。 C53 やりづらい。

	C54 えっ、やりづらい？
	C55 足し算？
	C56 10と3の方がきりがいいからそっこのほうがいいんじゃない。
	C57 10と3の方がきりがいいからそっこのほうがいいんじゃない。
	C58 たしかに一。
	C59 ナイス！
T28 こっちは？	
T29 どっちの方がやりやすいか手を挙げて？	C60 きりが悪い。13を9と4に分けるとか。
T30 こっちの方が簡単にできるってことか。	C61 10と3⇒約25人 9と4⇒2人

②被乗数が23のときの分け方を説明する。(B,Cの局面)

T31 みんなできたからレベルアップ！	C62 早く出して。
T32 $23 \times 3$	C63 やったー。 C64 はい、かんたん。 C65 かんたん。 C66 できたー
T33 はい簡単、どうやったらできそうかな？	C67 これもさっきのように20と3に分けたらできそう。 C68 きそう。
T34 分けたらできそう。	C69 20と3に分けて、さらに20の0をとって2 C70 $\times 3$ と $3 \times 3$ にしたらできる。
T35 みんな分かったかな？	C71 うん。(数名) (他の児童は分かっている子が多い感じ)
T36 分けたらできそう。	
T37 自分でノートにやってみよう。	C72 全部分けれるよ。 C73 できたよー。 C74 どうせ、さっきと同じなんだから C75 簡単だからレベルアップに？つけとこ。 C76 レベルアップしてないよ。 C77 できた。 C78 このやり方でもできるよ。
T38 じゃあ、聞いていこう。	
T39 この2は	C79 23を2と3で分けた。 C80 20と3じゃないと無理。
T40 計算の仕方は？	C81 20の2
T41 どれが九九？	C82 $20 \times 3$ は60、 $3 \times 3$ は9で69。 C83 全てが九九 C84 九九に似てる。 C85 0をとる。

	C86 0をとると $2 \times 3$ になる。 C87 全然レベルアップしてないよ。
T42 みんなが九九好きだから23を9と8と6に分けたんだけど、できる？	位に着目する見方の考察 C88 できるかも。 C89 足し算祭りになる。 C90 できる、できる。
T43 やってくれる？	C91 まず、 $9 \times 3$ は27、 $8 \times 3$ は24、 $6 \times 3$ は18で足して69。 C92 8で足して69。 C93 おれ、これでやった。

③二つの考え方を比較する。(B,Cの局面)

T44 これでやった一人いる？	C94 はい。(2人)。 C95 はい。(約20名)
T45 じゃあ、こっちでやった人？	
T46 じゃあ、こっちが簡単ってこと？	問いの生起の考察 C96 そう。 そっか、こっちの方が簡単だ。 C97 きのりのいい数字だから。
T47 なんでこっちは簡単なの？	
T48 ノートに書いてみよう。	C98 簡単な方は分ける数が2つで、難しい方は3つに分けている。 C99 まだある。 C100 ふくぎつじゃないってどういうこと？
T49 ふくぎつじゃないってどういうこと？	C101 なんかさ、3つに分けたとき中途半端な数になる。分けるのが難しい。数がいっぱいある。 C102 分けるのが面倒。 C103 計算しやすい。 C104 切りのいい数字に分けられる。
T50 分ける数がいっぱいあるってことだよな。	
T51 気付いた？	C105 位に分けている。
T52 切りのいい数で分けたってことはどうやって分けたの？	C106 位に分けてやればいい。 C107 位に分けると位がいくら大きくても簡単にできる。
T53 昨日、〇〇さんも気づいてたね。	
T54 今、言いたいこと分かった？	C108 分かった。 C109 十と一の位に分けている。
T55 これでいくと？	C110 $20 \times 3$ が十の位。 C111 $3 \times 3$ が一の位。

T56 こっちも？	C112 あれも。 C113 そう、そっちも。 反対になっているけど、3×3が一の位。 10×3が十の位。 C114 あ、そうだね。 C115 9と8と6だと全部一の位になっている。 C116 <b>複雑でわかりにくい。</b> C117 十の位で分かりやすい。
T57 納得？	C118 うん。
T58 ○○さん、さっきつづやいてたね。 T59 一の位、十の位でできたら。	C119 百の位、千の位でもできる。 0が多くても1500とかだったら、さらに分けたらできる。
T60 できそう？	C120 うん。
T61 二つに分けたりきりのいい数字だったら簡単に分けられるってこと分かった？	C121 うん。
④学習を振り返り、学び進める（Dの局面）	
T62 じゃあ、○○さんいってくれたから今日やる問題じゃないんだけどチャレンジ。 T63 位に分けてできるかやってみよう。 T64 (321×3を板書)	C122 はい。もうできた。 C123 はい。 C124 一瞬で分かる。 C125 みんなで言いたい。 C126 <b>全部九九が使える。</b>
T65 また九九が使える。	C127 言いたい。
T66 どうやって分けたの？	C128 一の位と十の位と百の位に分けた。
T67 一の位と十の位と百の位に分けた。	C129 おれもそうした。 だって、 <b>ぱっとわかっちゃう。</b>
T68 みんなでやろう。	
T69 百の位は？せーの。	C130 9・・・ <b>300×3=900</b>
T70 十の位は？せーの。	C131 <b>20×3=60</b>
T71 一の位は？せーの。	C132 <b>1×3=3</b>
T72 足したら？	C133 963。 C134 合ってた。

T73 できた人？	C135 できたー。 C136 はい。(3分の2が挙手) (ノートでは5名が未記入) C137 「わきお」書きたい。  C138 ぼくは300を3×3でやった。
T74 最後にいっただけいい？ T75 位をみてやったよね。	C139 十の位。 C140 一の位。
T76 そうだね。 T77 3×3は百の位。 T78 2×3は	C141 やっぱり、九九が使える C142 位に揃えてできるし、一回の数字で計算できる。 C143 大きな数字もできる。 C144 昨日より、 <b>九九がいっぱい使えた。</b> C145 千の位でもできそう。 C146 今日は初めて100の位のかけ算をやったけど分けたら簡単だった。
T79 1×3は	C147 うん。 C148 かんたん。 C149 <b>きりがいいから。</b>
T80 じゃあ、わきお(分かったこと、気付いたこと、思ったこと)書きましょう。	C150 <b>そんなめんどくさいことしなくていい。</b> C151 たしかに。
T81 すばらしい。 T82 最後に、位に分けることで9と8と6だと分けるの難しかったよね。	
T83 位に分けたら？	
T84 なんで簡単？	
T85 切りがいいっていうのは、一つしか分け方がないってことだよな。 T86 20×3と3×3しか分けられないってことだよな。 T87 位だと20と3にしか分けられないよね。 T88 9と8と6とか8と8と7とか分けなくていいよね。	
T89 めんどくさいことしなくても一つしか分け方がないってことがいい。	



7. 算数日記

位や九九に着目

位と九九について書かれているが、位に分けるよさが何かは書かれていない。

その他の多くの児童は、位に分けて計算するよさを実感できているが、九九を基にしていることが記入できていなかったり、位で分けることのよさを明確に表すことができていなかったりしている。

やっぱり九九がもとになっ  
ている計算がたくさんある。そ  
れに位にそろえてやるとすぐ  
にわかる。23を20と3に分けて  
やるときりのいい数にするとも  
わかりやすくなる。少し考え  
るだけでかんたんにできるよ  
うになる。

100の位で分けるのはちよ  
とわかんないと思いましたが。でも分  
けて考えるとすごく分かりやす  
いよとおもいました。

百の位、十の位、一の  
位に分けるとは「やりやす

きりのいい数であげるとかん  
たんだという感じがしてよか  
たです。1000のくらいでも  
そうです。

かんたんにできるとか、きりの  
いい感じがして、きりのいい  
感じがして、かんたんにできるとか、

かんたんにできることだから

今日の問題は、この  
九九や九九を使  
って、たてかけ算の筆  
算なども使  
って、九九の位が

今日はじめの百の位のかけざ  
んをやってもわかんないからとて  
もかんた

きのうより今日のけい  
さんが、分かりやす  
く楽しかったです。

分ければかんたん

位が大きいと小さいと  
きつたは、きちんとするとし  
て、きつたは、きつたは、きつたは、  
きつたは、きつたは、きつたは、  
きつたは、きつたは、きつたは、

掛け算はきりのいい数字に分けて  
計算するといい。



## 九九に着目

どんな時でも九九を使えるよさについて気付いているが、位に分けるよさを記入できていない、もしくは気付いていない。

数を分けるとちゅうかんたん  
九九が使えらる。

くわきおくいろいろな  
所で九九が使えらる

九九はいつでも使えらる

## その他

自分のやりかたもみんなの  
やりかたを考えたて  
おもしろかった。

本時の主張とはずれるが、友達の意見を聞いて、取り入れたり、学び進めたりする姿が少し見える。

みなさんの色んな考え方をきいて  
とてもよかった。

なんじかできた

あつた

本時とは関係ないが、前に使った解決結果を活用して次の問題にいかそうと統合的に考える姿が見られた。

あきお  
きうはきのうより九九がっ

つがえこべんりあとははほく  
ると23×3をたときろく  
ろこ9どちとも同じにでき  
る。

授業の導入場面では難しいと感じていた子も複数いた。クラスの友達の考えを共有する中で見方・考え方を成長させできるようになった。筆算が未習の本時では2位数×1位数の計算は難しかったが、「分ける」という考え方を使っていけば、2位数も九九を使って計算できることが分かり、数を「分ける」よさを感じられたのではないかと思う。

さようのさんまうかむずし  
のはがりましたのしか  
たです。

100くわいらい  
あつた

このけいさん  
をつかうと  
しりたこと  
がもった。

## 8. 授業後の分析と考察

### ◆位に着目する見方の深まりについて

位に分けるよさが深まりづらかった。求めてきたゴールの姿への手立てがもっと良い方法があったのかもしれない。

位に分けることを「切りのいい数字」と表現している。何度も切りのいい数字という言葉が出てきたので、そこでもう少し位に着目する問いかけができればよかった。

### ◆位に分けたときの数の理解について ⇒ (ノートに書けていない子4名を見て)

23を20と3に分ける場面で簡単に2と3に分けている子は多かった。その分け方が20と3に分けていることをとらえているかが見切れなかった。とらえられていないとしたら、アレイ図を使った方がよかった。

### ◆九九の有用性について⇒ (1時間の通して)

前時から九九を基にして解決していく流れを価値付けていた結果、九九を基にすることで計算できると理解できた子が多かった。1時間の授業の中でも数多く「また九九」や「九九を基に」などの子どもからの声が多かった。九九を基にすることでこの先、数が大きくなっても九九を基にすると解決できると感じた子は多くいたと感じる。

### ◆問いの生起について

位に分ける分け方と九九に分ける分け方の比較をして問いを生起したつもりだが、教師側から純粋な九九だけの分け方を提示したことにより子ども自身が問いを生起できていたかに疑問が残る。「なぜ？」と考えることができる問いを考えていくために、子どもがどういった思考をしているか考えていく必要がある。